

■勉強について

市長…勉強の継続力、モチベーションの維持をするために心がけていることはありますか。

桑原…今自分が取り組んでいる勉強が、将来につながっているという感覚を持つことが大切だと思います。私の場合は、中学生になってから勉強法についての本をたくさん読み、「このやり方をしていけば志望する大学に行ける」と思う方法を見つけることができましたので、苦手な教科にも積極的に取り組むことができました。

市長…中学生の頃には、どのくらい本を読んだのですか。

桑原…中学3年生から高校の3年間で、500冊ほど読んだと思います。中学校と電車で通学していたこともあり、通学の合間時間を使って、書店に足を運び、勉強法はもちろん、脳科学や心理学などの本を読みました。さまざまな知識を得ることで、自分のやり方は間違っていないという自信を持つことができたのが大きいですね。一番は、楽しんで勉強できるやり方を早く

見つけることです。難しいとは思いますが、頑張ってみることが重要です。

市長…勉強が楽しくなるような方法を見つけれれば良いですね。

桑原…覚え方ひとつとっても、得意不得意もあるので、自分の得意な勉強法を見つけれれば、成績も向上するのかなと思います。覚え方も見て覚えるのが得意な人、聞いて覚えるのが得意な人、書いて覚えるのが得意な人などさまざまです。全部のやり方が苦手という人はいないので、自分に合ったやり方を早い時期に見つけてほしいです。

市長…自分の得意なものが必ずあると



いうことは、とても希望が持てます。たくさん子どもたちに知らせたいと思います。周りの人たちが声をかけることで、良い方向に導くことができるのではないかと感じています。

■京都大学に進んだ理由

市長…京都大学に進学した理由を教えてください。

桑原…京都大学の自由な校風に惹かれました。大学側も自由な校風を唱っていますし、実際に入学して、より実感しました。

市長…「自由」があるから自ら学ぼうとし、探求しようとする人を応援する校風があるのですね。

桑原…自分の好きなことや研究したいことに没頭できる良い環境だと思っています。

■子どもたちに伝えたいこと

市長…桑原さんは、勉強法などの本をたくさん出版されています。どのようなことを伝えたいのですか。

桑原…勉強の得意不得意は生まれつきの才能ではなく、自分に合ったやり方を知らないだけだと思います。勉強を頑張りたいけどうまくいかない、頑張っても成績が上がらない、と思っている学生たちに良いやり方を伝えて、少しでも後押しをしてあげたいと思います、本を書いています。

市長…学習塾をされたり、本を書かれたり、人に思いや考えを伝えるときは、どのようなことを意識していますか。

桑原…あまり深く考えすぎないことが大切かなと思います。今、この瞬間を楽しく生きていくことが Motto なので、勉強法ひとつとっても、「軽い気持ちでやってみない？」と話すことは多いです。自分の思いや考えをすべて伝えることは難しいので、何かひとつでも感じてもらえればと思って話しているのですが、その分気楽に話ができるのではないかと思います。

■オンライン教育について

市長…コロナ禍で、子どもたちがオンライン学習やタブレットを使って授業をしています。子どもたちが不安になっていないか心配になります。

桑原…大学1年生の頃から、オンライン学習塾をやっていますが、良いことも悪いこともある程度経験してきました。子どものオンラインでの学習環境については、ほとんど問題ないのではないかと思います。子どもたちは慣れるのも早いので、あまり心配しなくても大丈夫かと思っています。

市長…先生方も戸惑うことが多いのではないのでしょうか。

桑原…私も最初は苦労しましたが、すぐに慣れました。そして徐々に、表情や声のトーンなどから、説明が伝わっているか確認することができるようになります。また、文章や図、画像を同時に共有することができるので、黒板に問題文を書くことが不要になるのもメリットです。ただ、対面の塾と違い、普段生活している自宅での学習に